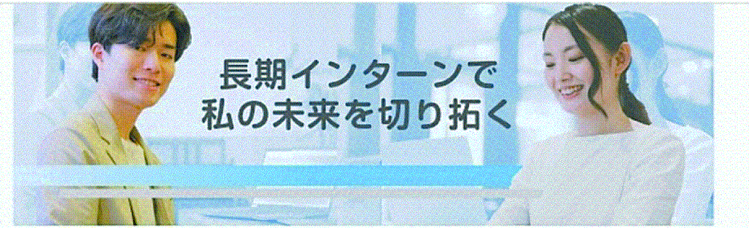


新潟産業大の通信課程「マナガラ」 長期の就業体験に注力 サイト運営の会社と提携



長期インターンで
私の未来を切り拓く



マナガラの学生専用のユアターン特設サイト

間を長く取れる」と通信制の特徴を語る。

対象は全学年で、専用のユアターン特設サイトを設けた。オンラインで開催しているマナガラの就職活動支援イベントに、ユアターン関係者からインターンシップの基本情報も紹介してもらっている。

阿野さんは「通信制大学では就職に不安を感じる受験生もいるかもしれないが、キャリア支援を充実させてアピールしていきたい」と話した。

柏崎市の新潟産業大学の通信教育課程「managara(マナガラ)」は、3カ月以上の長期インターンシップ(就業体験)に特化した求人サイト「ユアターン」を運営する東晶貿易(東京都)と提携を結んだ。時間や場所の制約が少ない通信制の利点を生かし、マナガラの学生に多様な社会経験を積んでもらう。進路選択の支援を充実させることで、通信制の魅力も高めたい考えだ。

マナガラは産大が21年度に開設。入学から卒業までの全講義をオンラインで行い、一度も大学に來ないで経済経営学の学士号を取得できる。今年5月1日時点

の生徒数は1、2年生合わせて555人。

マナガラの学生層は多くが県外に住み、18〜22歳が85%を占める。卒業後は就職を希望する学生が多い。学生にインターンシップの機会を提供したいと考えていたところ、交流があった東晶貿易側から、関東を中心に200社以上を掲載するユアターンの活用を提案され、6月に提携を締結した。

ユアターンの掲載企業の中には1年程度のインターンシップを受け入れる会社もあるという。担当した産大の長補佐の阿野孝さん(47)は「いつでもどこでも学べるマナガラの学生だからこそ、社会と触れ合う時